労災診療費算定実務講座

令和８年度



公益財団法人　労災保険情報センター

©2026 RIC All Rights Reserved

第3編

処置料・リハビリテーション料

公益財団法人　労災保険情報センター

©2026 RIC All Rights Reserved

- 処置料
- リハビリテーション料
- 処置及び
  リハビリテーションの特例

©2026 RIC All Rights Reserved

◆ 処 置 料

・四肢加算

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト98頁

四肢加算（１点未満の端数切り上げ）

1.5倍



鎖骨・肩甲骨・股関節含む

2.0倍

手及び手の指(手関節含む)

（一般処置）

- 創傷処置
- 下肢創傷処置
- 熱傷処置
- 絆創膏固定術
- 鎖骨又は肋骨骨折固定術
- 重度褥瘡処置
- 爪甲除去(麻酔を要しないもの)
- 穿刺排膿後薬液注入
- ドレーン法(ドレナージ)

（皮膚科処置）

- 皮膚科軟膏処置
- 皮膚科光線療法

（整形外科的処置）

- 関節穿刺
- 粘(滑)液嚢穿刺注入
- ガングリオン穿刺術
- ガングリオン圧砕法
- 鋼線等による直達牽引（２日目以降）
- 介達牽引
- 矯正固定
- 変形機械矯正術
- 消炎鎮痛等処置（手技による療法 / 器具による療法 / 湿布処置）
- 低出力レーザー照射

©2026 RIC All Rights Reserved

四肢加算

ポイント1

四肢加算の対象とならないもの

ギプス

医療機器等加算

薬剤料

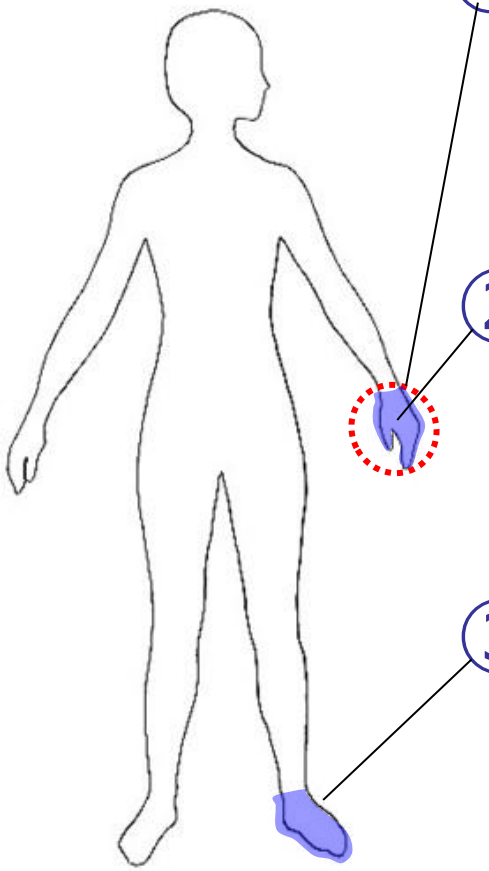
特定保険医療材料料

©2026 RIC All Rights Reserved

例題

①左手背にドレーン法(その他のもの)
②左手背に消炎鎮痛等処置(器具)
③左足

四肢加算が適用される場合の外来管理加算の特例は?



四肢加算
２５点 × ２.０ ＝ ５０点

② 消炎鎮痛等処置(器具) ➡ 1.5倍

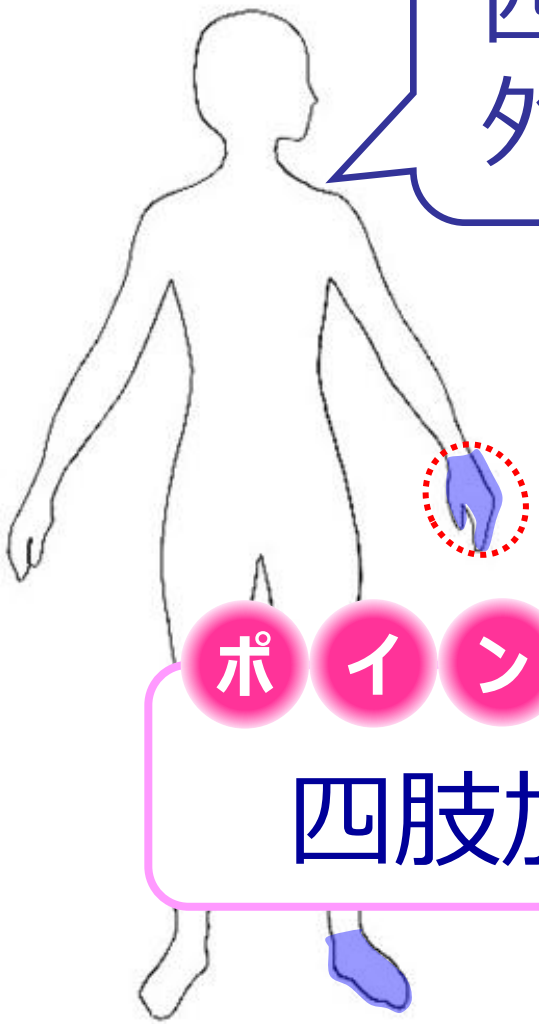
四肢加算
３５点 × １.５ ＝ ５３点

③ 消炎鎮痛等処置(器具) ➡ 1.5倍

四肢加算
３５点 × １.５ ＝ ５３点

©2026 RIC All Rights Reserved

四肢加算



四肢加算が適用される場合の
外来管理加算の特例は？

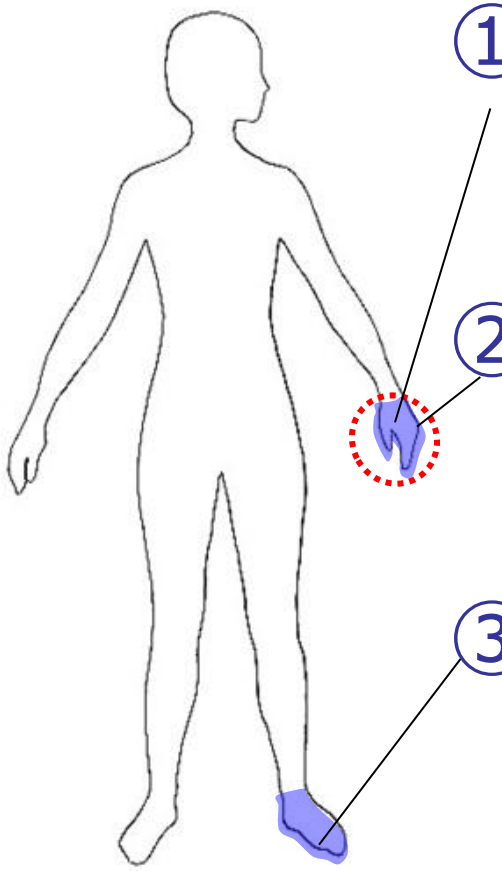
ポイント2

四肢加算後の特例点数が基準

©2026 RIC All Rights Reserved

例題

①左手背にドレーン法(その他のもの)
②左手背に消炎鎮痛等処置(器具)
③左足背に消炎鎮痛等処置(器具)



外来管理加算
特例

① ドレーン法(その他)
四肢加算
25点× 2.0 ＝ 50点 ＜52点 ○

② 消炎鎮痛等処置(器具)
四肢加算
35点× 1.5 ＝ 53点 ＞52点 ×

③ 消炎鎮痛等処置(器具)
四肢加算
35点× 1.5 ＝ 53点 ＞52点 ×

©2026 RIC All Rights Reserved

四肢加算

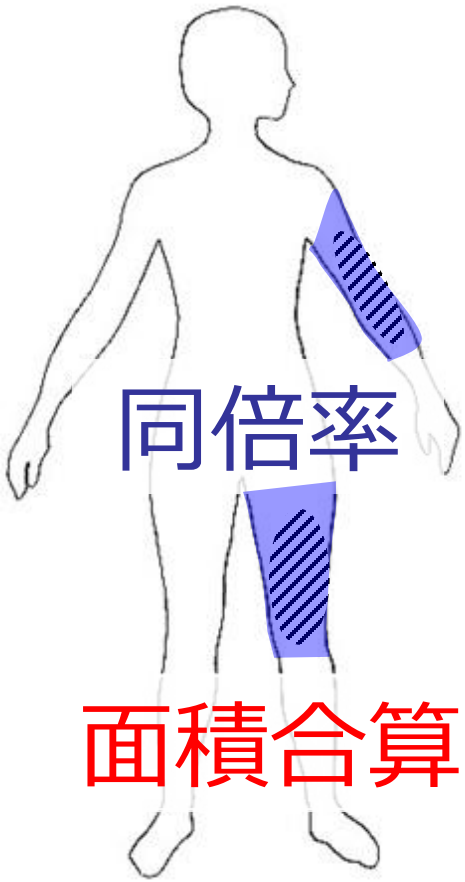
テキスト101頁

ポイント③

健保において処置面積を合算して算定する

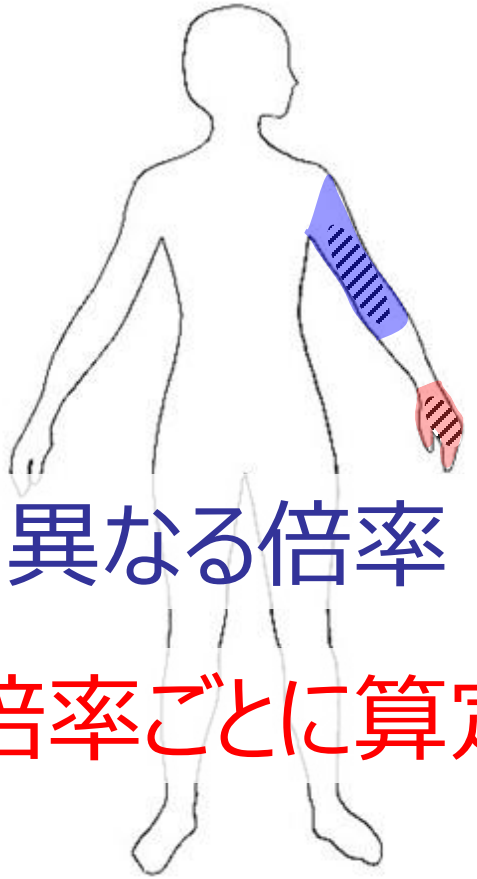
「創傷処置」「皮膚科軟膏処置」「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに処置面積を合算して算定



同倍率

面積合算



異なる倍率

倍率ごとに算定

©2026 RIC All Rights Reserved

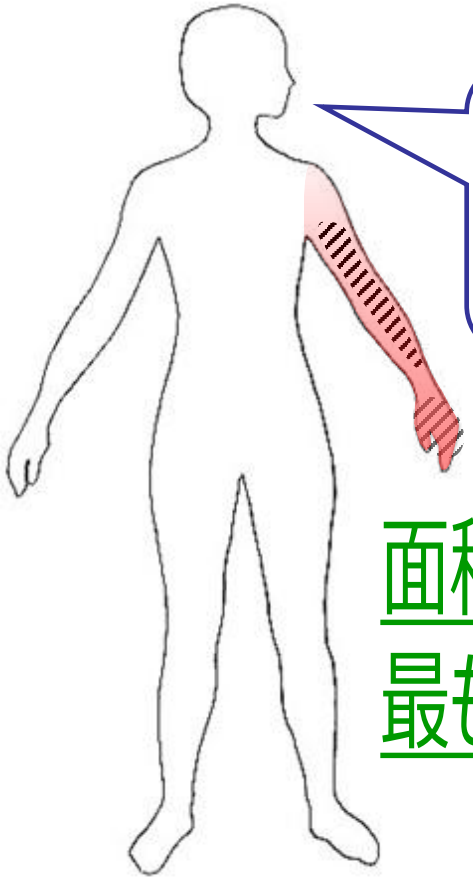
四肢加算

テキスト101頁

ポイント③

健保において処置面積を合算して算定する
「創傷処置」「皮膚科軟膏処置」「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに処置面積を合算して算定



四肢加算の倍率が異なる範囲にまたがって行う場合は？

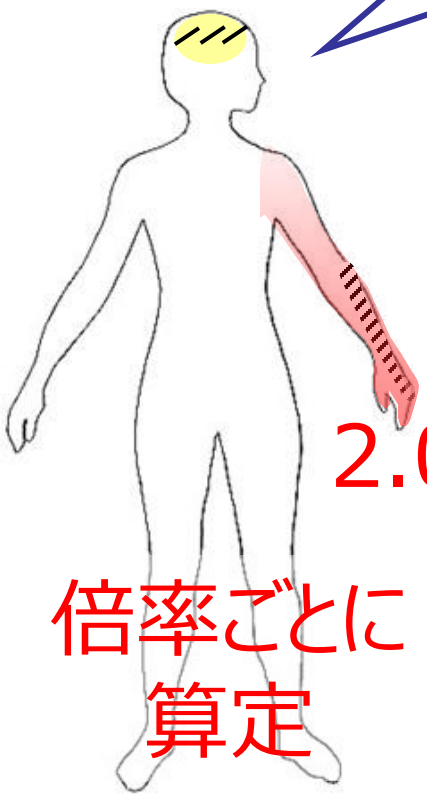
面積を合算し、該当する区分の所定点数に対し最も高い倍率で算定

©2026 RIC All Rights Reserved

例題

再診時に創傷処置を前額部に３０㎠、左前腕から左手部に連続して１５０㎠行った場合（同一

前額部の創傷処置を４５点として算定し、外来管理加算の特例を算定できるか?



倍率ごとに算定

前 額 部　５２点

左前腕 ～ 手 部

四肢加算

６０点 ×２.０ ＝ １２０点

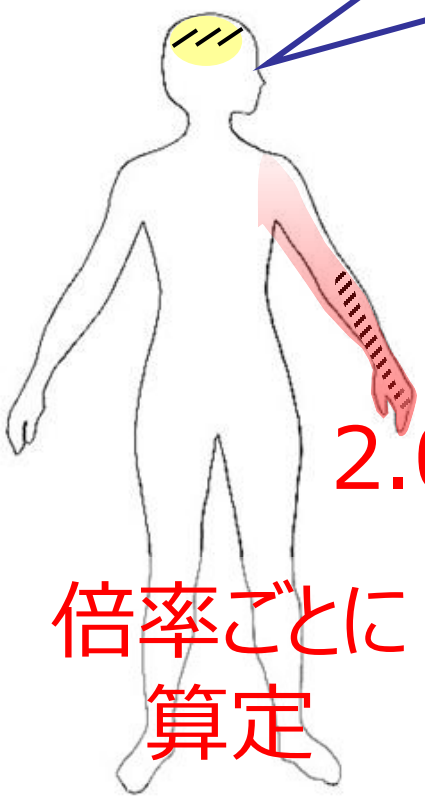
１７２点

©2026 RIC All Rights Reserved

例題

再診時に創傷処置を前額部に３０㎠、左前腕から左手部に連続して１５０㎠行った場合
（同

外来管理加算特例は
四肢加算の倍率ごとに算定し
合算した点数を基準に判断



倍率ごとに
算定

前 額 部　　５２点

左前腕 ～ 手 部

四肢加算
６０点 ×２.０ ＝ １２０点

１７２点

外来管理加算特例 ➡ ✕

©2026 RIC All Rights Reserved

レセプト記入例（例題）

	摘　　要	
４０	*創傷処置（前額部）	５２×１
	*創傷処置（左前腕～左手部） （６０×２.０）	１２０×１

©2026 RIC All Rights Reserved

◆リハビリテーション料

・疾患別リハビリテーション料

・ＡＤＬ加算

・四肢加算

・標準的算定日数に係る取扱い

©2026 RIC All Rights Reserved

疾患別リハビリテーション料

テキスト119・120頁

（１単位）	（Ⅰ）	（Ⅱ）	（Ⅲ）
心大血管疾患 リハビリテーション料	２５０点	１２５点	
脳血管疾患等 リハビリテーション料	２５０点	２００点	１００点
廃用症候群 リハビリテーション料	２５０点	２００点	１００点
運　動　器 リハビリテーション料	１９０点	１８０点	８５点
呼　吸　器 リハビリテーション料	１８０点	８５点	

早期リハビリテーション加算、初期加算、
急性期リハビリテーション加算、
休日リハビリテーション加算、
離床を伴わずリハビリテーションを行った場合

・・・ 算定可

©2026 RIC All Rights Reserved

ＡＤＬ加算

３０点（１単位につき）

入院中の傷病労働者に対し、

訓練室以外の病棟等において 早期歩行、ＡＤＬの自立等を目的とした疾患別リハビリテーション(Ⅰ)（運動器においては(Ⅱ)を含む）を行った場合

又は

医療機関外において 疾患別リハビリテーション(Ⅰ)（運動器においては(Ⅱ)を含まない）を算定できる訓練に関するリハビリテーションを行った場合

©2026 RIC All Rights Reserved

mini Q&A

Q1 ADL加算は早期リハビリテーション加算のような日数制限の適用は、ありますか。

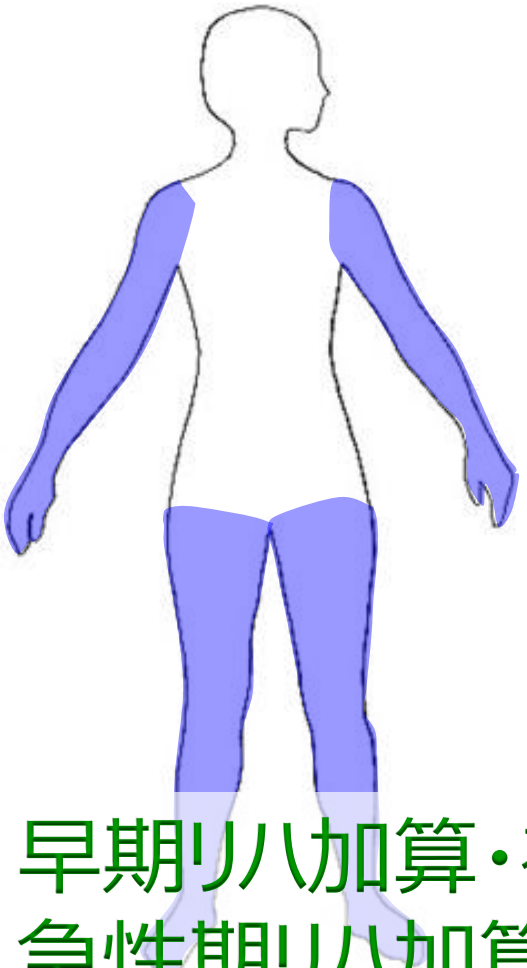
A1

日数制限の適用はありません。

©2026 RIC All Rights Reserved

四肢加算　１．５倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む



疾患別リハビリテーション料

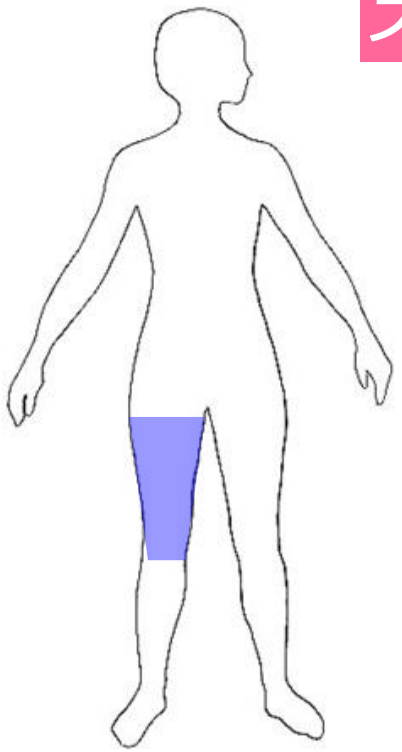
- 心大血管疾患リハビリテーション料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料
- 廃用症候群　リハビリテーション料
- 運　動　器　リハビリテーション料
- 呼　吸　器　リハビリテーション料

早期リハ加算・初期加算・ADL加算
急性期リハ加算・休日リハ加算
・・・四肢加算対象外

©2026 RIC All Rights Reserved

例題

大腿骨頸部骨折で入院4日目の患者に対し、運動器リハビリテーション(Ⅰ)、早期リハビリテーション加算、ＡＤＬ加算をそれぞれ１単位算定する場合



労災

運動器リハ(Ⅰ)

	四肢加算	
190点	×1.5 =	285点
早期リハ加算		25点
ＡＤＬ加算		30点
合　計		340点

健保

185点
25点
——
210点

早期リハ加算・ADL加算…四肢加算不可

©2026 RIC All Rights Reserved

標準的算定日数に係る取扱い

必要性及び効果が認められる場合は、
標準的算定日数を超えて算定できる。

標準的算定日数を超えた場合の
「単位数上限」は適用しない。

「単位数上限」(１月13単位) を超える場合 は

・レセプト摘要欄に医学的所見等を記載

又は

・「労災リハビリテーション評価計画書」添付

©2026 RIC All Rights Reserved

◆処置及びリハビリテーションの特例

・処置の特例

３部位又は３局所の取扱い

湿布処置の取扱い

・リハビリテーション及び処置の併施

処置の併施

リハビリテーション及び処置の併施

©2026 RIC All Rights Reserved

処置の特例

介達牽引、矯正固定、変形機械矯正術
手技による療法、器具等による療法
腰部又は胸部固定帯固定
低出力レーザー照射

負　傷

1日につき
受傷部位ごとに
３部位限度

疾　病

1日につき

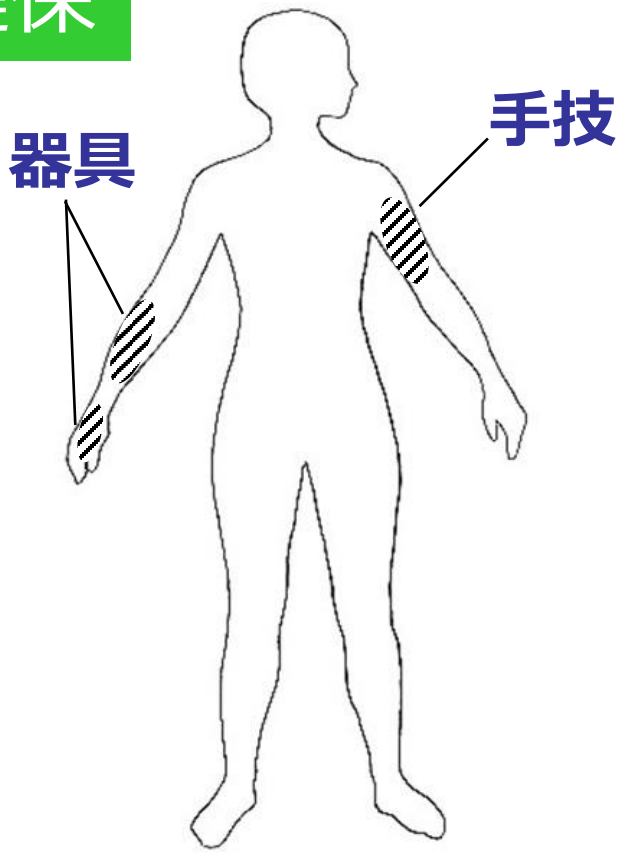
３局所限度

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

健保



主たる所定点数のみを算定

３５点

©2026 RIC All Rights Reserved

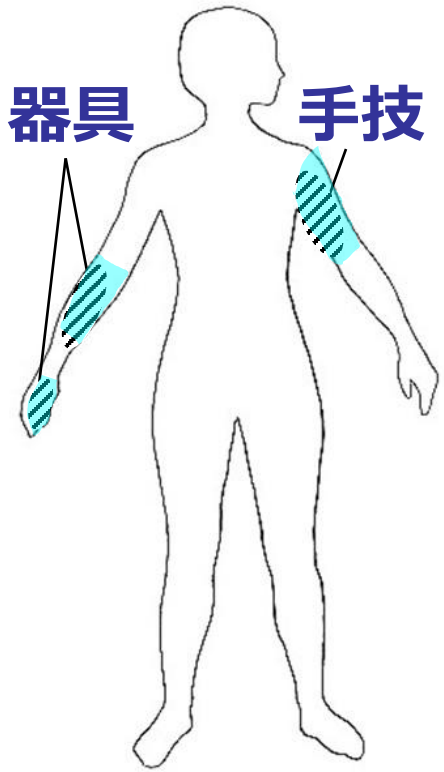
算定例２

テキスト128頁

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

労災

① 負傷の場合



受傷部位ごとに３部位を限度

四肢加算

右手背　35点 × 1.5 ＝ 53点
右前腕　35点 × 1.5 ＝ 53点
左上腕　35点 × 1.5 ＝ 53点

１５９点

©2026 RIC All Rights Reserved

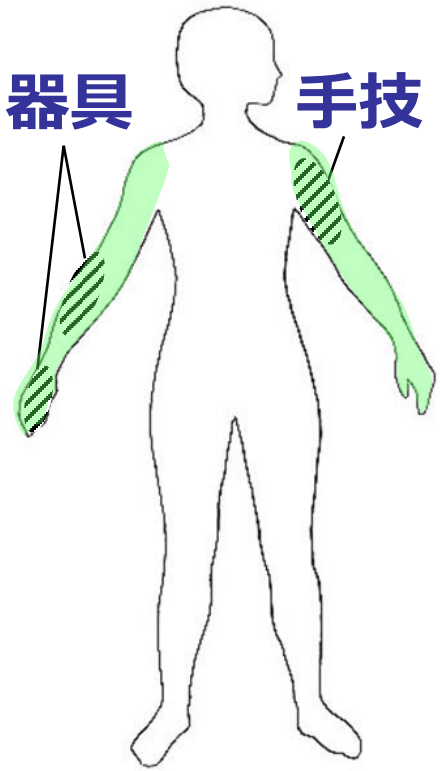
算定例２

テキスト128頁

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

労災

② 疾病の場合　３局所を限度



四肢加算

右手背
右前腕　35点 × 1.5 ＝ 53点

左上腕　35点 × 1.5 ＝ 53点

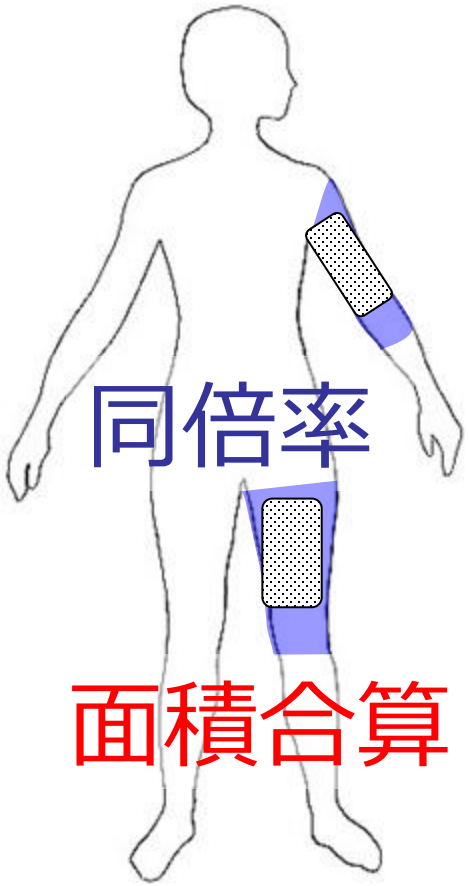
１０６点

©2026 RIC All Rights Reserved

処置の特例

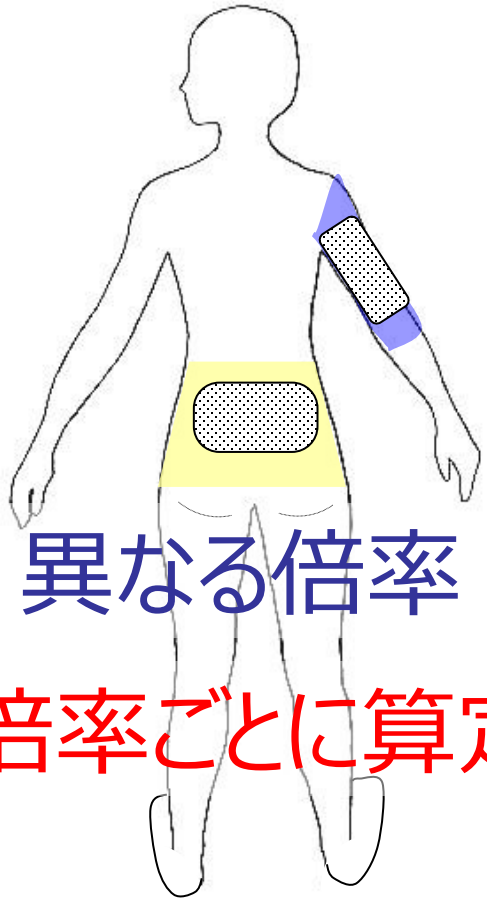
「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに算定し合算



同倍率

面積合算



異なる倍率

倍率ごとに算定

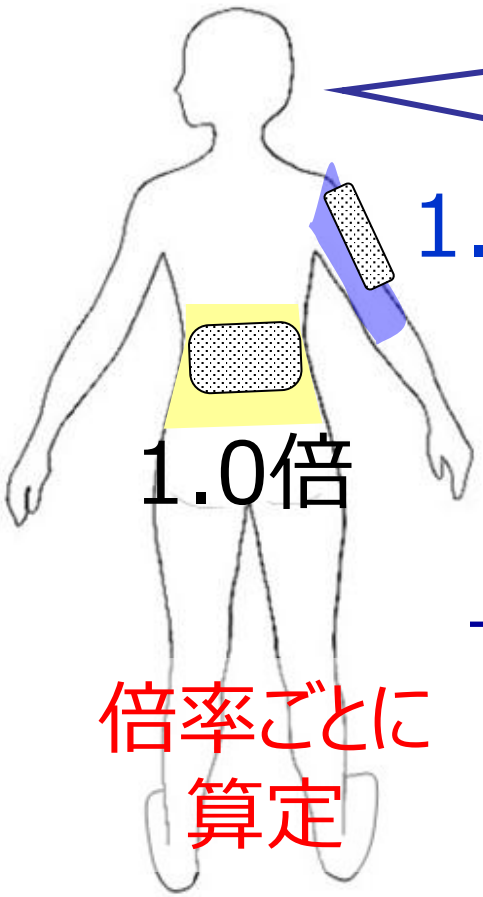
©2026 RIC All Rights Reserved

算定例３

テキスト129頁

右上腕部と腰部に湿布処置を行った場合（各々半肢の大部以上の範囲）

外来管理加算の特例は？



倍率ごとに算定

四肢加算

右上腕部	35点	× 1.5	＝	53点
腰　　部				35点

８８点

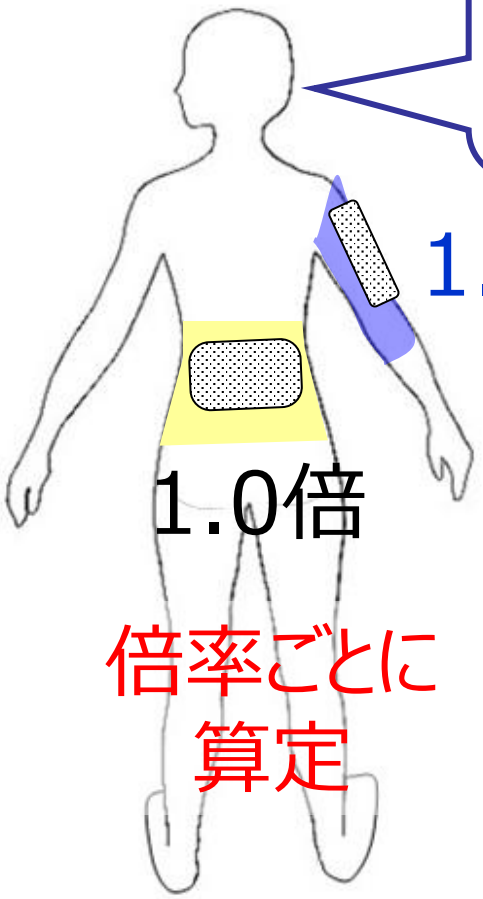
©2026 RIC All Rights Reserved

算定例３

テキスト129頁

右上腕部と腰部に湿布処置を行った場合（各々半肢の大部以上の範囲）

外来管理加算の特例は
四肢加算の倍率ごとに算定し合算した点数を基準に判断



四肢加算

右上腕部	35点	× 1.5	＝	53点
腰　　部				35点

52点 ＜ ８８点

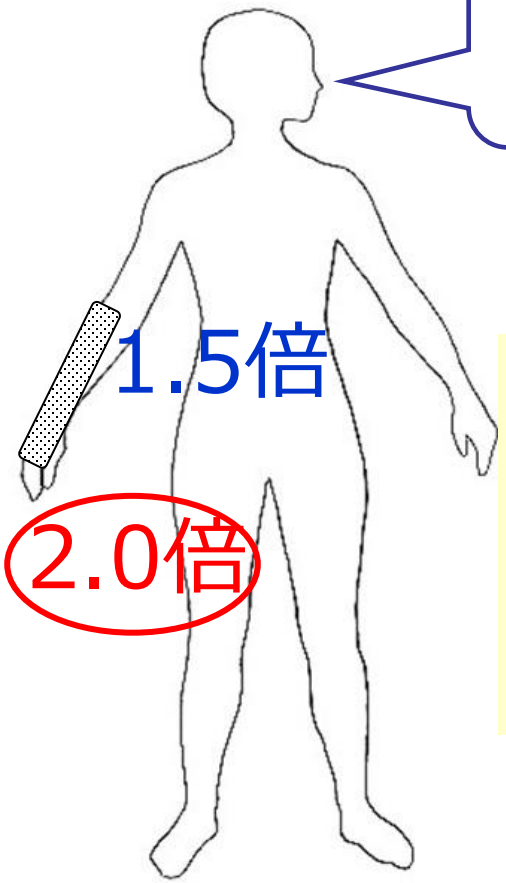
外来管理加算特例 ➡ ✕

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例４

テキスト129頁

右手部から右前腕部に連続して湿布処置を行った場合（半肢の大部以上の範囲）



四肢加算の倍率が異なる範囲にまたがって行う場合は？

⇒ 最も高い倍率で算定

右手部～右前腕部　四肢加算

35 点 × 2.0 ＝ 70 点

52点 ＜ 70 点

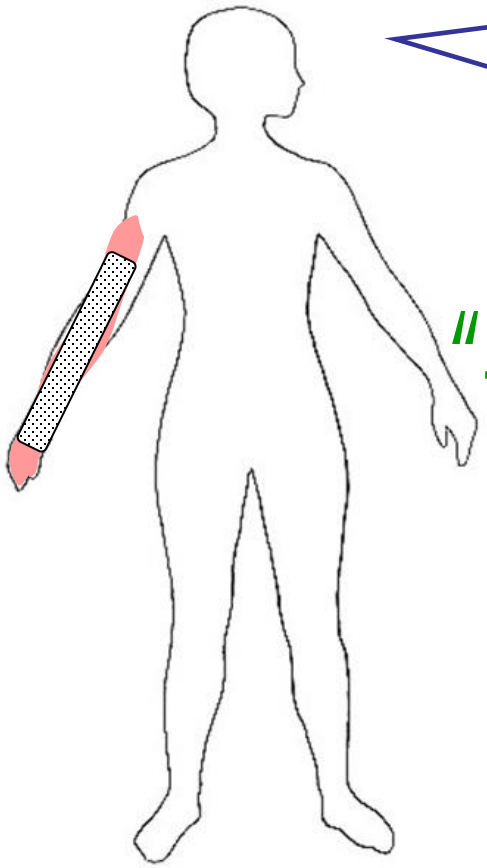
外来管理加算特例 ➡ ✕

©2026 RIC All Rights Reserved

処置の特例

「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに算定し合算



四肢加算の倍率が異なる範囲にまたがって行う場合は？

“半肢の大部又は頭部、頸部及び顔面の大部以上”の範囲に該当

⇒ 最も高い倍率で算定

©2026 RIC All Rights Reserved

リハビリテーション及び処置の併施

湿布処置等と介達牽引・手技・器具等の併施



異なる部位（局所）に行った場合に限る

湿布処置 等

四肢加算の倍率ごとに算定合算

＋

介達牽引・手技・器具 等

合計２部位（局所）まで

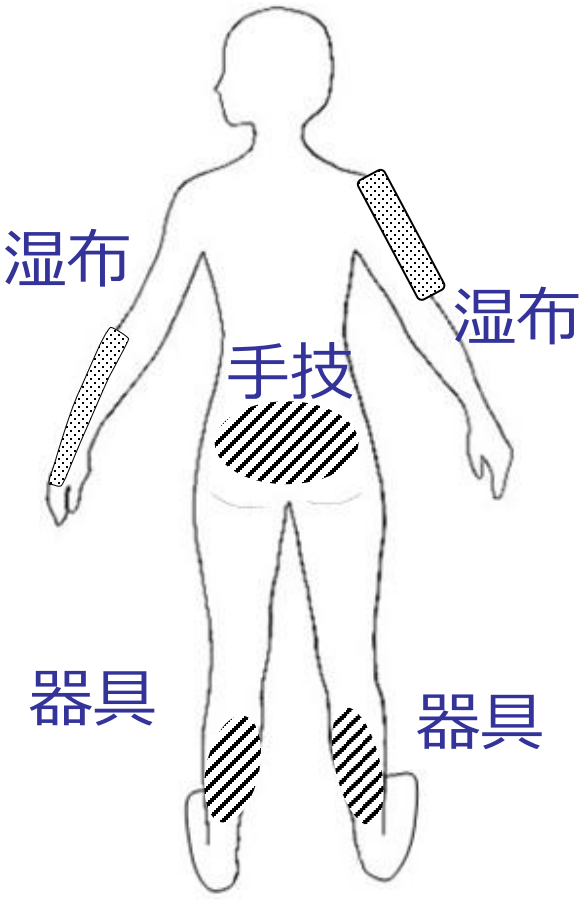
又は

介達牽引・手技・器具 等

合計３部位（局所）まで

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例１　右上腕と左手部～左前腕に湿布処置　テキスト135頁
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)



湿布処置 等
四肢加算の倍率ごとに算定合算

＋

介達牽引・手技・器具 等
合計２部位（局所）まで

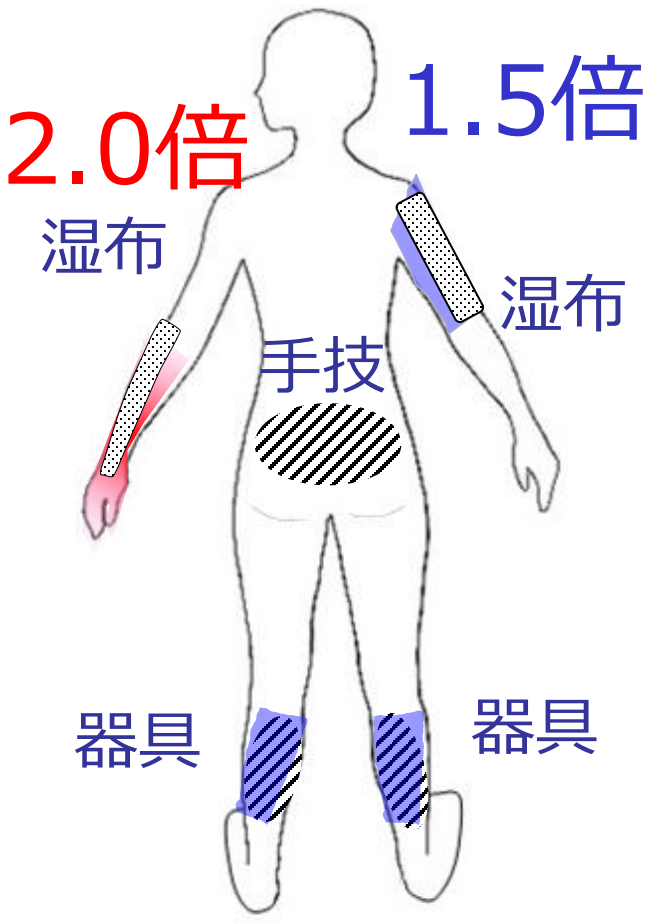
又は

介達牽引・手技・器具 等
合計３部位（局所）まで

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例１　右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)

テキスト135頁



湿布処置 等
四肢加算倍率ごとに算定合算

＋

介達牽引・手技・器具 等
合計２部位（局所）まで

【湿布】

35点 × 1.5（四肢加算） ＋ 35点 × 2.0（四肢加算）

【介達・手技・器具等】

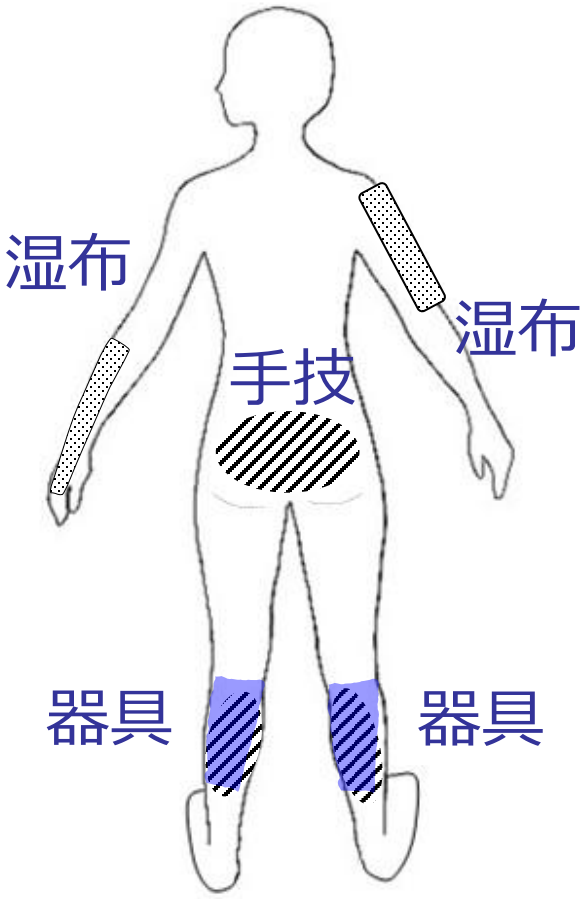
35点 × 1.5（四肢加算） ＋ 35点 ＋52点（外来管理加算 特例）

263点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例１　右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)

テキスト135頁



介達牽引・手技・器具等
合計３部位（局所）まで

【介達・手技・器具等】

外来管理加算
特例

四肢加算

35点 × 1.5 ×2＋35点＋52点

＝193点

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト135頁

算定例１　右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)

湿布を算定する場合

【湿布】

四肢加算　　四肢加算

35点×1.5 ＋ 35点×2.0

【介達・手技・器具等(2部位まで)】

四肢加算　　外来管理加算特例

35点×1.5 ＋ 35点 ＋ 52点

263点

湿布を算定しない場合

【介達・手技・器具等(3部位まで)】

四肢加算　　外来管理加算特例

35点×1.5×2 ＋35点 ＋52点 ＝ **193点**

©2026 RIC All Rights Reserved

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリと介達牽引・手技・器具等の併施

介達牽引・手技・器具等は異なる部位（局所）に行った場合に限る

リハビリテーション

＋

介達牽引・手技・器具 等
いずれか１部位（局所）

又は

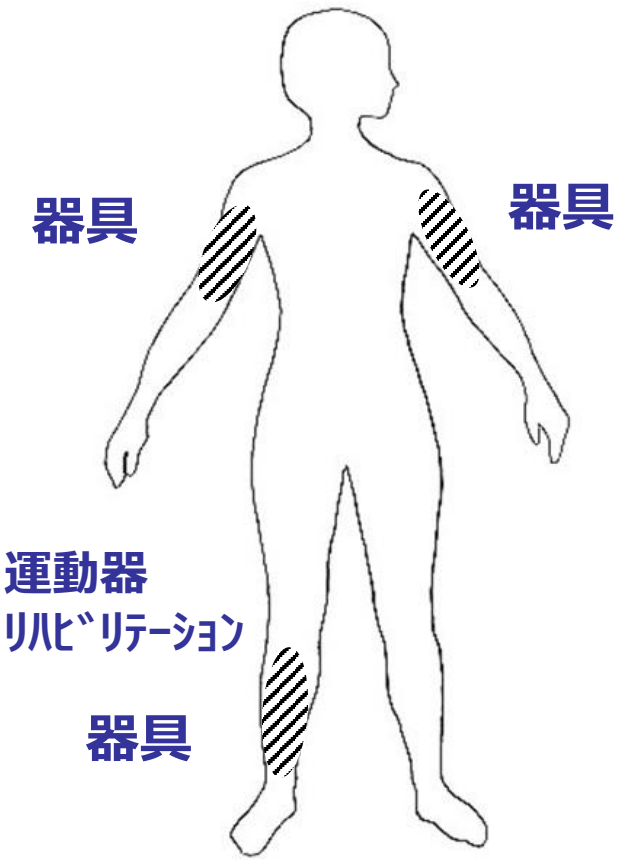
介達牽引・手技・器具 等
合計３部位（局所）まで

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

右下腿　運動器リハ（Ⅰ）１単位
消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
右上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
左上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

テキスト137頁



リハビリテーション

＋

介達牽引・手技・器具等
いずれか１部位（局所）

又は

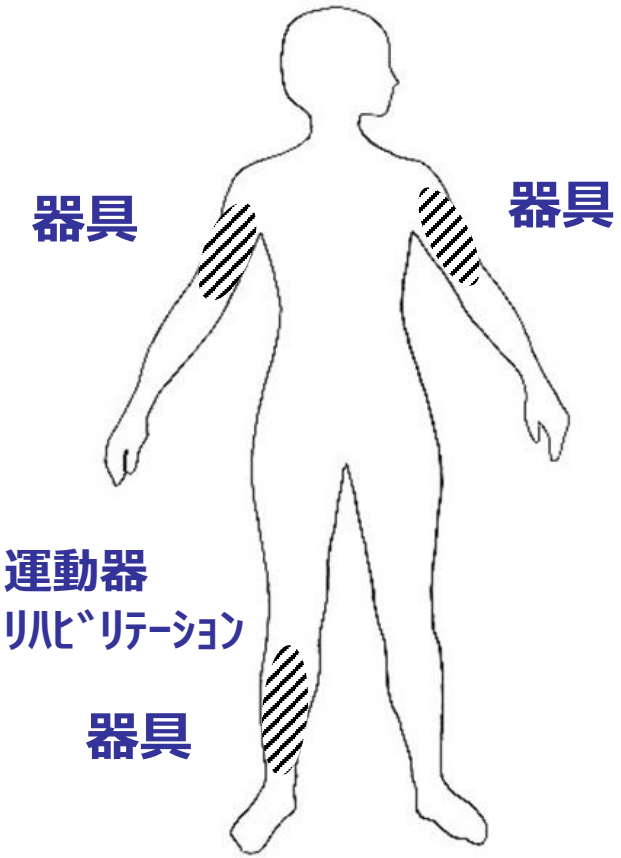
介達牽引・手技・器具等
合計３部位（局所）まで

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

右下腿　運動器リハ（Ⅰ）１単位
消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
右上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
左上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

テキスト137頁



リハビリテーション
＋
介達牽引・手技・器具等
いずれか１部位（局所）

【リハビリ】　四肢加算
190点　× 1.5

【介達・手技・器具等】　四肢加算
35点　× 1.5

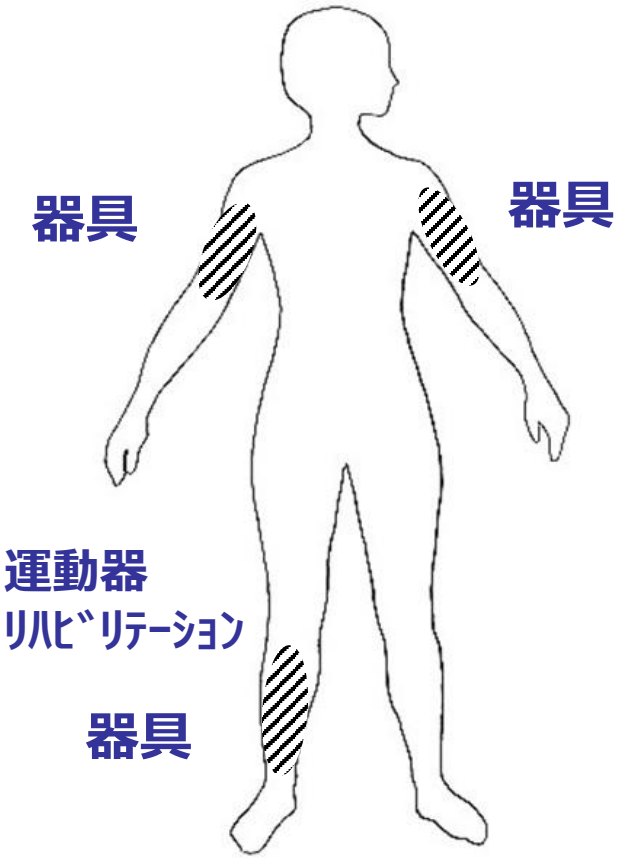
338点

©2026 RIC All Rights Reserved

算定例２

右下腿　運動器リハ（Ⅰ）１単位
消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
右上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
左上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

テキスト137頁



介達牽引・手技・器具等
合計３部位（局所）まで

【介達・手技・器具等】

四肢加算
35点×1.5× 3 ＝159点

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト137頁

算定例２

右下腿　運動器リハ（Ⅰ）　１単位
消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
右上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)
左上腕　消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

リハビリを算定する場合

【リハビリ】

四肢加算
190点 × 1.5

【介達・手技・器具等(1部位)】　四肢加算
35点 × 1.5

338点

リハビリを算定しない場合

【介達・手技・器具等(3部位まで)】
四肢加算
35点 × 1.5 × 3 ＝ **159点**

©2026 RIC All Rights Reserved

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリと湿布処置等の併施

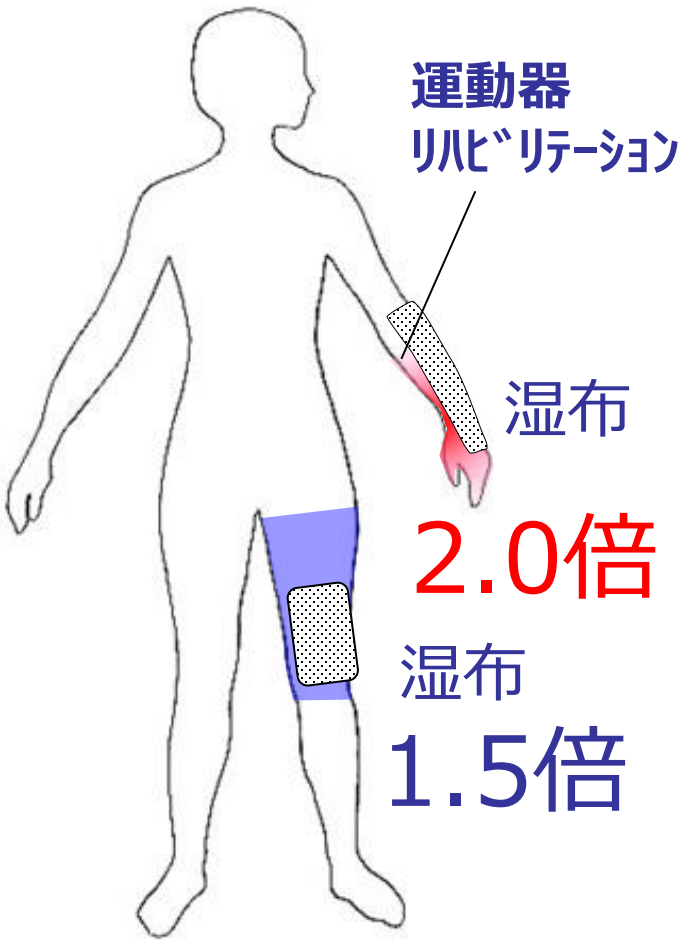
リハビリテーション ＋ 湿布処置 等
（いずれか１部位）

©2026 RIC All Rights Reserved

テキスト138頁

算定例３

左手部～左前腕　運動器リハ（Ⅲ）１単位
左手部～左前腕　湿布処置
左大腿　湿布処置



リハビリテーション
＋
湿布処置 等
（いずれか１部位）

【リハビリ】　四肢加算
85点 × 1.5

【湿布】　四肢加算
35点 × 2.0

198点

©2026 RIC All Rights Reserved

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリ、湿布処置等と介達牽引・手技・器具等の併施

湿布処置等と介達牽引・手技・器具等は異なる部位(局所)に行った場合に限る

リハビリテーション

＋

湿布処置 等
いずれか１部位

＋

介達牽引・手技・器具 等
いずれか１部位（局所）

又は

湿布処置 等
四肢加算の倍率ごとに算定合算

＋

介達牽引・手技・器具 等
合計２部位（局所）まで

又は

介達牽引・手技・器具 等
合計３部位（局所）まで

©2026 RIC All Rights Reserved

第3編

処置料・リハビリテーション料

ご清聴ありがとうございました。

©2026 RIC All Rights Reserved